

社長の経営力がわかる

マネージメント・パワー診断

社長様へ

マネージメント・パワーは、

経営に最も重要な項目

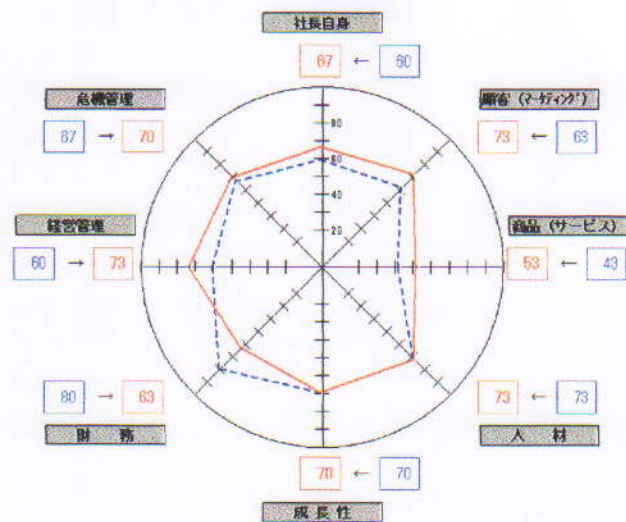
48問のアンケートに答えるだけで、

社長の経営力を **ズバッ!!** と診断します。

【マネージメント・パワー 診断の特徴】

総合診断と8つの要素別診断で、社長自身の強み・特性、及び、改善を要すると思われる点を明らかにします。

8要素とは…



- ① **社長自身** : 経営者として、日常行動の中での基本的事項の実践度合いをみています。
- ② **顧客** (マーケティング) : 「顧客なくして企業なし。」増客の仕組みや管理、他社に負けないための施策をみています。
- ③ **商品** (サービス) : 自社の商品 (サービス・技術) 力を向上させるための施策や管理状況をみています。
- ④ **人材** : 社員の採用・教育、並びに定着を高めるための行動等が、計画的に行なわれているかをみています。
- ⑤ **成長性** : 投下された経営資源が効率よく活用され、成長発展にむけた会社のバネの強さをみています。
- ⑥ **財務** : 財務状況の把握と健全財政にむけての行動の状態をみています。
- ⑦ **経営管理** : 勤と経験ではなく、現場データを活かした管理状況や、将来を見据えた事業計画をみています。
- ⑧ **危機管理** : 自社を取り巻く様々なリスクに対する管理状況をみています。

マネージメント・パワーの帳票

回答結果による現状診断

社長自身 について (70 点)

(経営者としての自覚があり、基本行動はある程度とられています。)

可もなく不可もない状態ですが、まだまだ行かない事柄も多く、再発、行動チェックをしっかりとあると思われまます。経営者として、基本的にとらなければならぬ確認し、その上で自己向上目標を立て、計画をとってみたいかがでしょうか。

(劣ると自己診断された項目)

・朝礼の実施

顧客 (マネジメント) について

(売上の決壊は厳格です。既存の仕組み・管理が、

「顧客なくして企業なし。」営業力を強化しないようしている姿がうかがえ、素晴らしいと思われまます。より確かな状態に持っていくために、統合販売など、様々な視点から営業方法の見直しをしたいと思います。

(劣ると自己診断された項目)

・クレームの改善

自己診断による強味・弱味

	劣る項目 (1~2)	中程度の項目 (3)	優る項目
社長自身	・朝礼の実施	・公私混同 ・役員、幹部との対話	・経営理念の ・経営戦略の ・人間関係
顧客	・クレームの改善	・クレームの再発防止	・トップと ・クレーム ・営業教育 ・情報収集
商品	・差別化を図る ・比較優位な商品と投入 ・品質向上の仕組み	・品質管理の実績 ・研究、開発を重視	・品質的な ・顧客対応
人材	・人材育成を重視する	・人間関係の構築	・労働環境の ・給与、待遇 ・ポストなど ・事業ポート
成長性	・経営者の姿勢	・経営者の更新計画	・経営者 ・経営者 ・経営者 ・経営者
財務	・金融機関への説明	・専門家のアドバイスを ・決算書の分析 ・決算書の整理 ・経営者の把握	・経営者 ・経営者 ・経営者 ・経営者
経営管理	・将来の事業計画	・事業計画の執行 ・業績と実行	・今期計画 ・後継計画 ・資金計画
危機管理	・プレーンが存在	・社長の健康 ・事業の準備	・経営者 ・経営者 ・経営者

マネージメント・パワー (社長の経営力診断)

総合診断

この「マネージメント・パワー (社長の経営力診断)」では、アンケート回答に基づき、社長様の素晴らしい点および改善を要すると思われる点を明らかにしています。

前回 65 点

総合得点

68 点

企業は何と言っても経営者次第であり、経営者の考え方や行動が企業の全てを支配すると言えます。

日常の経営資源に対する活用意識、また、その行動は、ごく確信的であり、今後、より成長・発展が望まれるか、否かの分岐点に立たされている状態にあります。

経営環境は、更に厳しさを増して行くことが予想されます。そこで、社長様が社持ちにならなければならない力が十分に発揮されることが必要となります。

顧客コース、および、経営環境変化をしっかりと捉え、目先ばかりにとらわれず、中長期的・広域的な視点に立って自己革新を図ることが大切です。

「このままではいけない」と、真から危機感を抱けば、行動は変革して行きます。同業他社で情報を調べているところの強さを徹底分析して、自社に取り入れられるものがないか検討し、現在の経営資源の有効活用方法の見直しも図って下さい。社長様なら必ず出来ます。

マネージメント・パワー (3)

注目!

御社の企業力まで診断するには...これ!

決算診断提案書

金融庁の指導により、

金融機関は融資先 (御社) の信用格付け = 企業力を評価しています。

社長の経営力

(マネージメント・パワー)

+

御社決算書の評価

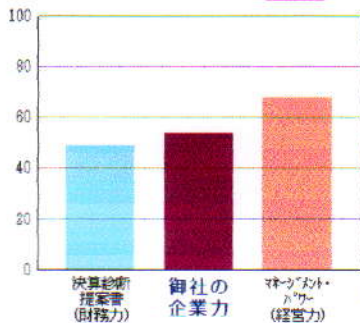
(決算診断提案書)

=

御社の企業力

(総合的な評価)

御社の企業力



[54] 点

決算診断提案書 (財務力)	49 点
マネージメント・パワー (経営力)	68 点

※御社の企業力
決算診断提案書の結果を 70%
マネージメント・パワーの結果を 30%
の割合で見えています

決算書 (2 期分 ~ 4 期分) から、銀行の信用格付けとほぼ同様な企業診断が出てくる「決算診断提案書」のご利用で、更に企業力が診断できます。